

宮城県感染症発生動向調査情報(第23週)

宮城県【平成26年06月12日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2014.6.2 ~ 6.8 ・ 第23週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保 健 所								仙 台 市				宮 城 県 (含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第20週	第21週	第22週	第23週		
水痘	1 0.20	16 1.60	6 1.20	2 1.00	3 1.00			16 0.62	44 0.76	1,048	○ →	○ →	○ →	○		
流行性耳下腺炎			1 0.20	1 0.50	2 0.67			7 0.27	11 0.19	280	→	→	→			
百日咳											→	→	→			
感染性胃腸炎	40 8.00	48 4.80	18 3.60	18 9.00	20 6.67	54 10.80	11 5.50	264 10.15	473 8.16	11,724	◎ →	◎ →	◎ →	◎		
手足口病	2 0.40					2 0.40		1 0.04	5 0.09	33	→	→	→			
伝染性紅斑	6 1.20	7 0.70	12 2.40	6 3.00	7 2.33	13 2.60		19 0.73	70 1.21	923	○ →	○ →	○ →	◎		
突発性発しん	2 0.40	8 0.80	5 1.00	2 1.00	5 1.67	3 0.60	3 1.50	19 0.73	47 0.81	815	○ →	○ →	○ →	○		
ヘルパンギーナ			1 0.20					1 0.02	14		→	→	→			
インフルエンザ	2 0.25	5 0.33		2 0.67		1 0.13		11 0.02	11 0.12	28,886	◎ →	○ →	レ →	レ		
咽頭結膜熱	1 0.20				1 0.33			23 0.88	25 0.43	261	→	→	→	○		
流行性角結膜炎		4 1.33						4 0.33	61		→	→	→			
急性出血性結膜炎		1 0.33						1 0.08	3		→	→	→			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8 1.60	25 2.50	5 1.00	5 2.50	17 5.67	19 3.80		71 2.73	150 2.59	3,127	◎ →	◎ →	◎ →	◎		
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→			
無菌性髄膜炎											→	→	→			
マイコプラズマ肺炎			1 1.00				5 5.00	1 0.20	7 0.58	201	→	→	→			
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→			
RSウイルス感染症								6 0.23	6 0.10	310	→	→	→			
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		1	5	1			2			◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向					
	川崎病										【週報の詳細】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/					
	不明発疹症							1								
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※			1					1	50						

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
2類感染症: 結核
3類感染症: 報告なし
4類感染症: A型肝炎
5類感染症: アメーバ赤痢
- 石巻管内 女性1名
塩釜管内 男児※1名(第20週)
大崎管内 男性1名
登米管内 男性1名
- 仙台管内 男性1名
仙台管内 女性1名
侵襲性肺炎球菌感染症
仙台管内 男性1名(第16週)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 1例

今週の感染症のコメント

一宮城県感染症対策委員会情報解析部会一

- [伝染性紅斑]
大崎、栗原、石巻管内で警報継続中。
登米管内で警報値を超えた。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～
感染性胃腸炎患者より
塩釜管内 第21週採取分 アストロウイルス 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第21週採取分 (5.19～5.25)	第22週採取分 (5.26～6.1)	第23週採取分 (6.2～6.8)
インフルエンザウイルスC	2件	2件	0件
インフルエンザウイルス(解析中)	0件	0件	1件
バラインフルエンザウイルス2型	0件	1件	0件
バラインフルエンザウイルス3型	2件	1件	0件
RSウイルス	0件	2件	3件
アデノウイルス	0件	1件	1件
ライノウイルス	1件	0件	0件
ヒトメタニューモウイルス	5件	4件	4件

[ヒトメタニューモウイルス]

気管支炎や肺炎などの呼吸器感染症を引き起こすウイルスの一種です。3月～6月にかけて感染が多くみられ、ウイルスセンターでの検出が確認されていますので注意が必要です。

[A群レンサ球菌咽頭炎]

高熱・咽頭痛・嘔吐を主症状とするA群レンサ球菌による上気道感染症で、春から初夏にかけてと冬季の2つの時期をピークとして流行がみられます。特に学童期の小児に最も多く、学校や家庭などの集団での感染も多く、ヒトヒトの接触機会が増加すると罹りやすくなります。県内でも患者数の増加傾向が続いていますので、今後の動向に注意が必要です。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群 (%)											総数 (人)
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	
2014年 第20週	14.6	29.1	23.3	7.8	4.9	6.8	3.9	3.9	4.9	1.0	0.0	103
第21週	2.1	29.8	23.4	4.3	6.4	10.6	4.3	10.6	6.4	0.0	2.1	47
第22週	11.4	54.3	22.9	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	2.9	35
第23週	18.2	18.2	27.3	18.2	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	11

インフルエンザ定点

インフルエンザ定点とは、小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で93定点(県:51、仙台市:42)となっています。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第21週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)
インフルエンザ: 定点当たり報告数は第17週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(7.64)、山形県(2.94)、岩手県(2.11)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は33例と前週と比較して増加した。17道府県から報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～9歳(11例)、10代(2例)、20代(1例)、40代(3例)、50代(1例)、60代(6例)、70代(3例)、80歳以上(5例)であった。**RSウイルス感染症**: 報告数は262例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。**咽頭結膜熱**: 定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は福井県(1.73)、鹿児島県(1.60)、石川県(1.59)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は新潟県(5.52)、福岡県(5.21)、鳥取県(5.00)である。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は愛媛県(15.35)、福井県(14.09)、大分県(12.89)である。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮城県(1.08)、富山県(1.00)、秋田県(0.63)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 定点当たり報告数は減少した。43都道府県から300例報告があり、年齢別では0歳(43例)、1～4歳(207例)、5～9歳(36例)、10代(5例)、20代(1例)、30代(2例)、40代(2例)、60代(2例)、70歳以上(2例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数